

2021年2月17日

会社名 株式会社ジェイック

代表者名 代表取締役 佐藤 剛志

(コード番号 7073 東証マザーズ)

2021年2月実施 就職活動振り返りに関する21卒学生アンケート

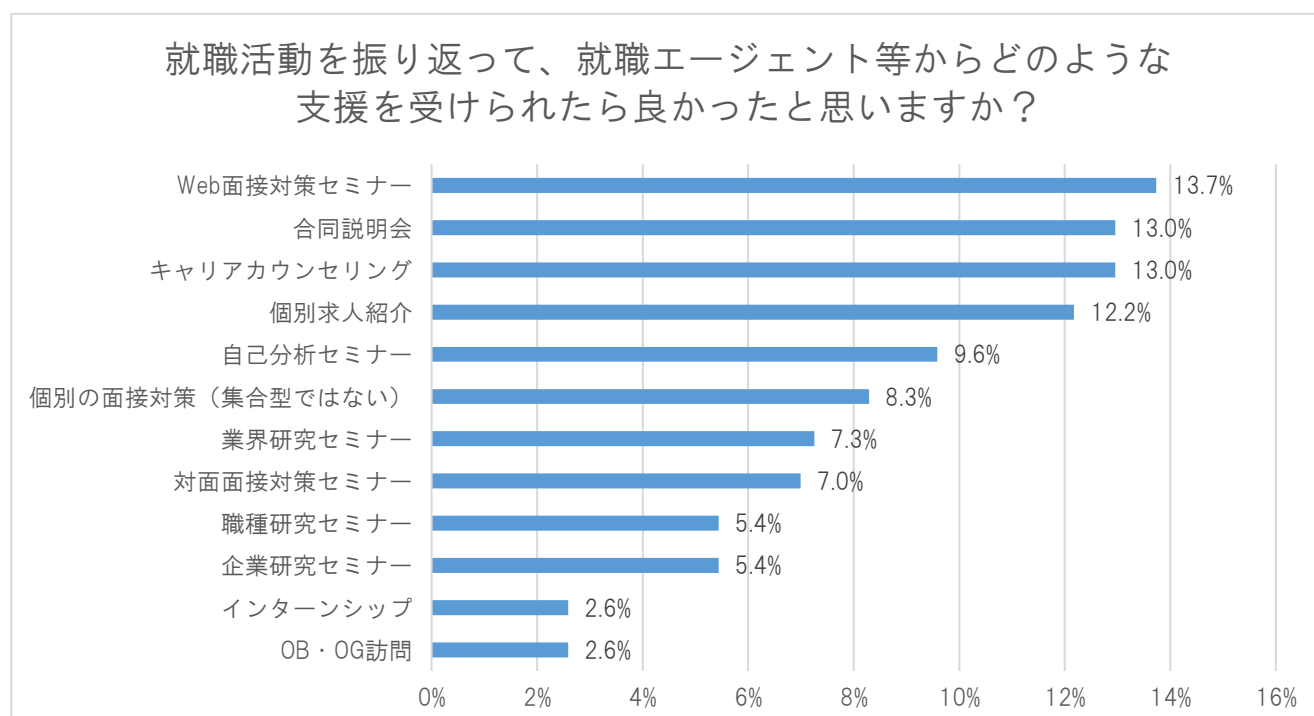
就職エージェントと大学の就職支援課それぞれに求められる学生支援

当社は、21卒学生を対象にした「就職活動振り返りに関する21卒学生アンケート」(回答者数182名)/2021年2月2日-6日実施)についての結果を発表します。

就職活動において学生が受けた支援の上位5項目は、就職エージェント・大学の就職支援課で同じ結果となり、学生が求める支援には共通性があることが分かりました。ただ上位3項目については、就職エージェントでは「Web面接対策セミナー」「合同説明会」「キャリアカウンセリング」、大学の就職支援課では「キャリアカウンセリング」「個別求人紹介」「自己分析セミナー」となっており、求められる役割が若干異なる可能性が示唆されます。

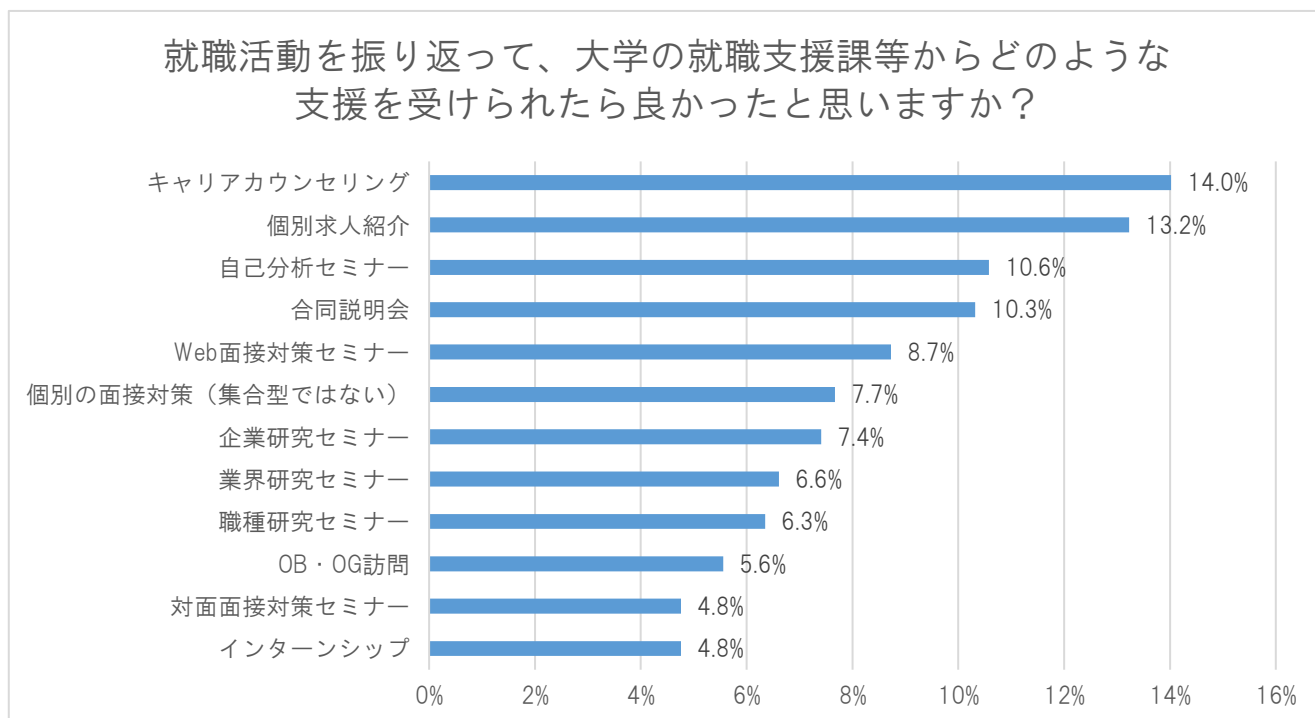
<就職エージェント等から最も受けた支援内容は「Web面接対策セミナー」>

就職活動を振り返って、就職エージェント等からどのような支援を受けられたら良かったか聞いたところ、「Web面接対策セミナー」13.7%、「合同説明会」13%、「キャリアカウンセリング」13%という結果となりました。21卒学生の就職活動は、新型コロナウイルス感染拡大により、急遽リアルからWebに就職活動の舞台が移り変わったことが「Web面接対策セミナー」の要望の多さに反映されていると考えられます。また、コロナ禍で多くの合同説明会が中止されてしまい、企業と対面で出会う機会が減ったことが例年の就職活動とは大きく違う点です。



＜大学の就職支援課等から最も受きたい支援は「キャリアカウンセリング」＞

就職活動を振り返って、大学の就職支援課等からどのような支援を受けられたら良かったか聞いたところ、「キャリアカウンセリング」14%、「個別求人紹介」13.2%、「自己分析セミナー」10.6%という結果となりました。大学の就職支援課については、Webでのキャリアカウンセリングの対応状況が大学によって異なることから、「本当は利用をしたかったが、Web対応しておらず、キャリアカウンセリングを利用することができなかった」という可能性も考えられます。



この結果について、当社常務取締役の近藤は「オンライン化が進む中、その状況に積極的に対応するところとそうでないところで、知見に差が出ている。Webでキャリアカウンセリングを行ったり、企業説明会等を毎回、バージョンアップさせて工夫・改善に取り組んでいたりする就職エージェントや大学と、単に対処療法的に取り組んだところとでは、蓄積されたノウハウに大きな開きが出てきている。今後は、学生に選ばれるところとそうでないところで、二極化していくだろう」と述べています。



近藤 浩充

当社常務取締役カレッジ事業本部長兼マーケティング開発部長。大学卒業後、情報システム系の会社を経て入社。IT戦略事業部長、経営戦略室長、教育事業部長、若手の採用・就職支援を行うカレッジ事業部長を経て現職。若手求職者の傾向と企業の採用・育成課題の双方を知る立場から、当社の若手求職者向け就活研修・企業向け教育研修を監修するほか、一般企業、金融機関、経営者クラブ、高校などで、若手の採用や育成、キャリア形成等についての講演も多数行っている。

【調査概要】

名称 : 就職活動振り返りに関する 21 卒学生アンケート
対象 : 当社の新卒向け就職支援サービス「新卒カレッジ®」に登録した 2021 年卒業予定者
回答者数 : 182 名
期間 : 2021 年 2 月 2 日-2 月 6 日

【お問い合わせ先】

株式会社ジェイック 担当：稲葉
E-mail : info@jaic-g.com テレワーク実施中のため、メールでのご連絡をお願いいたします。